【 50 】

氏名	守 屋 直 人
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1568 号
学位授与の日付	昭和60年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**細菌性リポ多糖(LPS)及びTumor necrosis factor (TNF)のマウス腫瘍に対する抗腫瘍効果とその作用機序**
論文審査委員	教授 寺本 滋　教授 木村郁郎　教授 小田琢三

学位論文内容の要旨

LPSの抗腫瘍効果と作用機序についてマウス腫瘍を用いて検討した。またラビットよりTNFを含む血清を作製し，in vivo 及び in vitro での腫瘍細胞への影響を検討した。さらにLPS及びTNFの細胞性免疫への影響を遅延型過敏反応から検討した。

LPS及びTNF血清は，腫瘍がある程度大きくなった時期に投与した場合，高い抗腫瘍効果がみられた。組織学的にはLPS投与後早期に腫瘍血管の拡張と血栓形成がみられ，血流うっ滞がおこっていると考えられた。腫瘍内血流量を測定した結果，腫瘍内血流量はきわめて乏しく，LPS投与後120分で有意に低下した。腫瘍細胞はTNF血清に対して感受性の差がみとめられた。LPS及びTNF血清を投与した場合，遅延型過敏反応の低下が防止された。

以上よりLPSの抗腫瘍効果は腫瘍血管に対する作用，TNFを介する腫瘍細胞に対する直接作用，宿主介在に細胞性免疫を増強する作用などの相互作用によるものと考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は腫瘍免疫に関する実験的研究であるが，マウスと同系腫瘍を用いて，細菌性リポ多糖(LPS)及びTumor necrosis factor (TNF)の抗腫瘍効果とその作用機序について検討し重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。